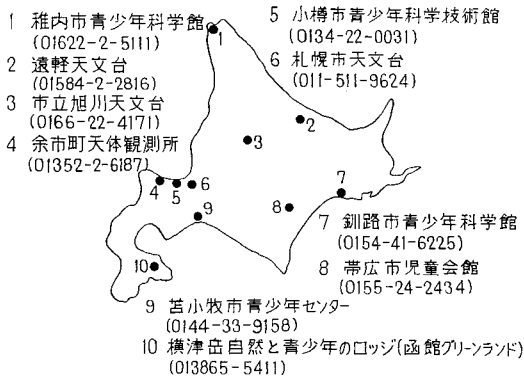


天文観測施設めぐり (III)

北海道

北海道における公立の天文観測施設は現在10施設ある。図に概略の分布と正式の名称、電話番号を示し、表にその所在地と主望遠鏡の口径、型式、F数を示した。設置の年は旭川が最も早く1950年で、これはまた全国で最初の市立天文台でもある。最も新しいのは横津岳で1972年の設立である。望遠鏡はすべて国産品で主な付属機器としては紅焰の観測装置が7台、星野カメラが旭川、



1. 稚内市ノシャップ2 (〒097) 20cm 屈 F12
2. 遠軽(エンガル)町瞰望岩頂上 (〒099-04) 20cm 反 F10
3. 旭川市常磐公園 (〒070) 15cm 屈 F15
4. 余市町入舟町モイレ (〒046) 30cm 反 F6.8
5. 小樽市緑町1-9-1 (〒047) 15cm 屈 F15
6. 札幌市中央区中島公園 (〒064) 20cm 屈 F12
7. 釧路市春湖台1-7 (〒085) 30cm 屈 F15
8. 帯広市緑ヶ丘2 (〒080) 30cm 反 F5, F20
9. 苫小牧市旭町3-1-12 (〒053) 15cm 屈 F15
10. 亀田郡七飯町大中山 988 (〒041-11) 20cm 屈 F12

札幌(10cm F5)、釧路(10cm F5)にある。以下各天文台の具体的活動について簡単に述べると(1)では公開は昼間は希望者のみ、夜間は第2・4土曜日で、(2)は冬期を除き月1回土・日公開、(3)は昼間9~17時(月、祭日休)、夜間は希望者に公開、夏は月数回の観望会をもち、黒点、星食のルーチン観測も行っている。(4)は年10回の観望会、(5)は天象により随時、また年2回の公開もある。(6)は月・火を除く昼間16時まで、夜間は月平均7日の公開、(7)は昼夜とも月2回程のグループ公開、その他に天文知識普及、観測者養成、研究資料のための観測を行う。(8)は団体宿泊施設をもち、そのための夜間公開、各月等の観望会の他6~10月に午後の黒点観察も行っている。(9)は年2期に天文クラブ、年間5回の天文教室の夜間公開、(10)は希望者に夜間公開している。(10)以外のすべてに同好会、クラブ等があり、天文台の事業を援助し、利用もしている。移動天文台は(1)、(4)、(6)で実施され、特に(6)で盛んである。(福島久雄)

◇ 3月の天文暦 ◇

日時	記	事
2 18	下弦	
3 6	火星 留	
6 2	月 最近	
8	啓蟄 (太陽黄経 345°)	
9 12	朔	
17 3	上弦	
23	月 最遠	
21 7	海王星 留	
9	春分 (太陽黄経 0°)	
25 1	望	
2	水星 東方最大離角	
31 14	月 最近	

